

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年8月1日				
事業所名		ねお放課後デイサービス入野				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	物品等を整理整頓し、スペースの確保に取り組んでいる。 定期的に道具の管理、点検をおこない、不要な物品等を整理し、スペースの確保をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	児童数に合わせて職員の確保をしている。 医療的ケア、リハビリに応じ、専門職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	エレベーターやスロープがあり、バリアフリーにも適した使用になっている。	出入口の階段、段差が高いため転倒等が無いように努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日検温と手洗いがきちんとされている。 物品等の消毒、清掃を毎日おこなっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2		クールダウンする部屋が確保されていると良い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		評価表を活用し、意向を踏まえた上で次回の評価までに新たな取り組みをしていくよう検討していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	ミーティング、会議を行い、職員が発信できる場を提供している。 職員全員で意見を出し合う体制作りに取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		今後法人内で検討を行い、第三者・外部評価の機会を設けていきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	施設内研修を毎月行い、施設外研修では放課後連、様々な研修に職員が行けるように相談を重ねている。	人員配置の関係上、全員が参加をすることができないため、参加をしていない職員に対して研修に参加した職員が研修をおこなうよう機会を設けている。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		ホームページ等を活用し、公表をしている。 保護者連絡でも周知をしている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	常に共通理解を計っている。 会議等で、様々な観点を検討している。	会議に参加できない職員に関しては、後日参加欄を作成し、全員から意見を得ることができるよう体制にしている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	全員から支援計画の意見がもらえる体制づくりに取り組んでいる。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	ミーティング、施設内会議棟を活用し、全員でプログラムの立案をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	固定化しないように職員間で話し合いをし、提案をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	職員間で活動の話し合いの場を設けている。	集団活動に参加できない子どもたちが多少いるため、皆で活動ができる内容を増やしていけるよう改善をしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援前に職員間で、毎朝ミーティングを行っている。	非常勤職員が参加できていないため、全体ミーティングを施設内で開催していけるよう、努めていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	参加できなかった職員も確認ができるように、連絡ノートを活用し、情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援記録を毎日、個々に記入を行い、全員で共有をし、計画等に組み込む体制作りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に一度、モニタリングを行い、計画の実施をしている。変更等があった場合、再度計画の見直しを行う。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	職員にガイドラインを周知し、支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	レクリエーション含め、自由時間を設け、多種選択ができるよう支援をしている。また製作等でも選択できるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	相談支援専門員等の担当者会議への参加や出席をするよう心掛けている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	関係機関、学校等の関係機関と繋がり、一人ひとりにあった、支援計画等の作成を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	行事予定や下校時刻表等、学校との情報共有を行っている。必要に応じ、保護者とも情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	児童発達支援事業所、基幹相談支援センター、相談支援事業所等からの情報収集を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	卒業後のサービス利用事業への情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		スーパーバイズや助言、または研修等を受ける機会がない為、今後検討をしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		地域のセンター等主催の行事参加をしているが、クラブ、児童会等の交流がない為、今後検討をしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	協議会への参加、研修などに積極的に参加をしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	手帳等を活用し、児童の様子などを伝えている。また写真などを渡す機会を設けている。	保護者会を開催できていない。今後児童達の様子を見ながら、話しができる場を作れるよう検討していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	家族支援、ペアトレ等を保護者へ聞きながら必要なら機会を設けている。	研修等の実施はできていない。今後検討していく必要がある。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に全て説明を行い、質問等がある場合は早急に返答ができるような体制づくりをしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	児発管が面談を行い、ニーズを踏まえた上で計画を作成し、説明をした上で保護者からサインを貰っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	必要に応じて面談を行い、電話等で受付をしています。また送迎の際に相談事がないか聞き取りを行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4	夏祭りを開催し、保護者が交流する機会を設けている。 夏祭り等で保護者にも参加してもらえることを継続していく。	交流会が少ないため、保護者会等の開催を検討する必要性あり。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談窓口を案内し、適切な対応ができるような体制づくりに取り組んでいる。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	定期的な通信の発信と共に、ホームページ等での公表もしてる。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報については、管理者が厳重に管理を行い、廃棄書類に関しては、シュレッターや溶解分子等で処分を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	状況に応じて、家庭・児童に合わせた方法で伝達を図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		地域交流がない為、夏祭りやイベント等の開催を伝えるとともに、施設の概要等をパンフレット配布を行い、周知できる体制作りを検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	マニュアル等は職員が周知できる場所に配置をしている。また研修等を行い、職員の質の向上にも努めている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	法人内での業務継続計画を策定し、マニュアルに従って、災害・感染等の研修を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に保護者から基本情報の聞きとりを行い、状況の把握をしている。必要なら職員間での情報共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	契約時に保護者から基本情報の聞きとりを行い、状況の把握をしている。必要なら職員間での情報共有を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を作成し、児童・支援員含めて研修、訓練を行っている。	地域住民等の訓練などができていないため、今後施設内で検討していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		安全計画は策定しているが、保護者との連携が取れていない面もあるため、保護者会を開催し、周知できる体制づくりをしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	毎月ささないことでも書いてもううようにしている。職員間で情報共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止委員会を開催し、委員が施設内で情報共有を行い、研修等をする機会を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束同意書を契約時に締結し、やむを得ず身体拘束を行った場合は、記録を補完するようにしている。	